

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-295144

⑤ Int. Cl.⁴B 60 N 1/08
B 21 D 53/88

識別記号

庁内整理番号

A-7332-3B
6778-4E

⑬ 公開 昭和61年(1986)12月25日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 シートフレーム

⑯ 特 願 昭60-135940

⑰ 出 願 昭60(1985)6月24日

⑱ 発 明 者 浦 井 宗 治 昭島市松原町3丁目2番12号 立川スプリング株式会社内

⑲ 出 願 人 立川スプリング株式会 昭島市松原町3丁目2番12号
社

⑳ 代 理 人 弁理士 木村 正巳 外1名

明 細 書

1 発明の名称

シートフレーム

2 特許請求の範囲

1 スライドレールアツバを縦方向にふたつに分割し、それぞれにアングル形成部分を一体に形成すると共に、その複数箇所横方向に延びるふくらみ部分を形成した半部材とし、これら半部材を1組に組合せて結合したことを特徴とするシートフレーム。

2 特許請求の範囲第1項記載のシートフレームにおいて、前記アングル形成部分に形成したふくらみをスライドレールストツバ収容部分としたことを特徴とするシートフレーム。

3 特許請求の範囲第1項記載のシートフレームにおいて、前記ふくらみをスライドレールアツバ側部に達するものとし、ここにスライドレールのボールを収容せしめてボールリテーナとしたことを特徴とするシートフレーム。

3 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は自動車^用のシートフレーム、ことに前後方向の位置調節アジャスタ付のシートフレームの構造に関する。

従来の技術

従来のリクライニングシートでは第4図に示すように、スライドレールアツバ01、スライドレールロア3、ローラ4、ボールを主要部品としてなる前後調節アジャスタが床の上に位置し、この前後方向アジャスタのスライドレールアツバ01の上にアングル06をボルトナット07で取付け、これにリクライニングブラケット^ヒ08A付のリクライニングブラケット08をたとえばリベット9で取付けた構造である。このような単位が左右2本平行にあり、この上にフレームが取付けられることは云うまでもない。ここでは、この図示のような単位をシートフレームと呼ぶこととする。

発明が解決しようとする問題点

上述のようなこれまでのシートフレームの構成

ではスライドレールアツパ01にリクライニングブラケット08を取付けるのにアングル06という別部材をボルトナット07、リベット9のような結合用部品でところどころで止めているので、構造的に無駄な材料を用い、しかもこれが局所的に結合されているのみで、徒らに重量の増加を来し、しかも強度が充分でないうらみがある。その上組立工数が多く低コストとなりにくい。

問題点を解決するための手段

本発明は上述の問題点を解決せんとしてなされたもので、スライドレールアツパとリクライニングブラケットとを一体化しアングル、結合用のボルトナットおよびリベットを廃し、これにより重量を減じ、強度を高め、かつ従来より薄肉の材料の使用を可能とし、低コスト化を計ろうとするにある。

すなわち本発明は、スライドレールアツパを縦方向にふたつに分割し、それぞれにアングル形成部分を一体に形成すると共に、その複数箇所に横方向に延びるふくらみ部分を形成した半部材とし、

(3)

ふくらみ部分2B、10は丸味を帯びたもので、アングル形成部分1A、2Aにのみでなく、その下方のスライドレールアツパ部分にまで延び、この内部にボール5を收容するようにしてある。従つて、このふくらみ部分はボールリテーナを構成している。

また、ふくらみ部分1B、2Cは角形の空間を形成するもので、アングル形成部分1A、2Aにのみ形成してある。この空間には第2図および第3図に示すスライドレール用のストツパ14を收容せしめ、孔1F、14Aに作動軸(図示しない)を通して外部からこのストツパ14を作動できるようにしてある。

このようなふくらみ部分の形成により剛性が全体的に高められ、単にスライドレールアツパとアングル形成部分とを一体化した場合よりも一層シートフレームの強度を高め、大きな衝撃荷重にも耐ることができるようになる。また必要強度を得るのに鋼板の厚さが薄くてもよくなり、軽量化、コストダウンを計ることができる。さらに、ふく

(5)

これら半部材を1組に組合せて結合したことを特徴とするシートフレームにある。

実施例

第1図に示すように本発明のシートフレームは従来のスライドレールアツパ01にあたるものが縦方向にふたつに分割され、上部にリクライニングブラケットとなるアングル形成部分1A、2Aを一体に形成した半部材1および2より成る。これら半部材1、2はたとえばスポット溶接部9'により結合されている。前後調節アジャスタはこのスライドレールアツパとスライドレールロア3、ローラ(図示しない)、ボール5を主要部品として構成される。上述の半部材1、2は板金のロール成形等で容易に製作できるが、要求仕様によつてはダイカスト、型による押し出し、引き抜き成形、インジェクションモールド、焼結合金等によつても製作することができる。

本発明によれば、この半部材1、2の複数箇所に横方向に延びるふくらみ部分1E、2C、10、2E、を形成してある。

(4)

らみ部分はそのままボールリテーナとして、またストツパ收容部分として有効に活用することができ、合理性を一段と高めている。

以上本発明を添付図面に例示したその好適な実施例について詳述したが、本発明はこの特定の実施例に限定されるものではなく本発明の精神を逸脱することなく幾多の変化変形がなし得ることはもちろんである。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の好適な実施例の部分斜視図、第2図はその要部の拡大斜視図、第3図はストツパの拡大斜視図、第4図は従来のシートフレームの斜視図である。

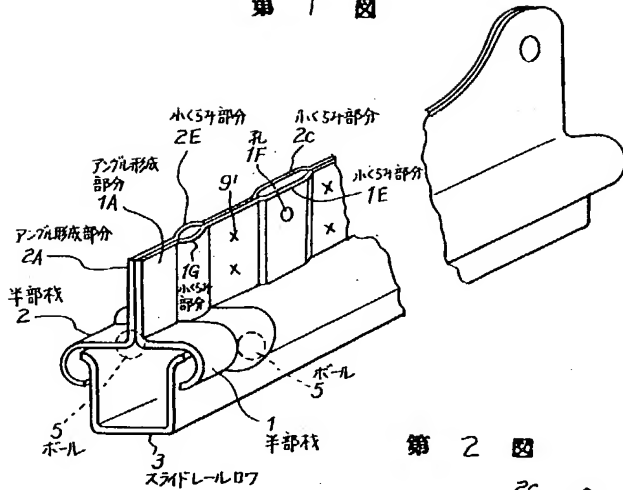
1、2・・・半部材、1A、2A・・・アングル形成部分、1E、10、2C、2E・・・ふくらみ部分、1F・・・孔、5・・・ボール、9'・・・スポット溶接、14・・・ストツパ、14A・・・孔。

代理人 木村正巳

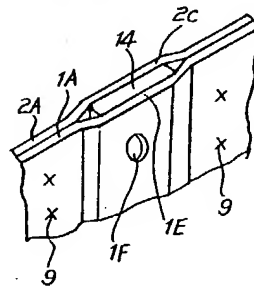
(ほか/名)

(6)

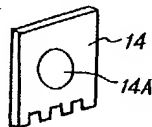
第 1 図



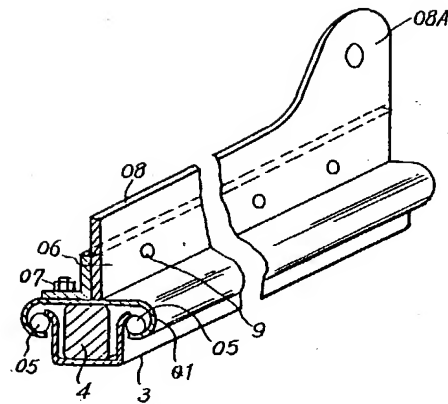
第 2 図



第 3 図



第 4 図



手続補正書(自発)

昭和 60 年 8 月 15 日

特許庁長官 宇賀 道 郎 殿

1. 事件の表示 特 願 昭 60 年 135940 号
2. 発明の名称 シートフレーム
3. 補正をする者 事件との関係 出 願 人
名 称 立川スプリング株式会社
4. 代 理 人 〒100 東京都千代田区有楽町一丁目 8 番 1 号
日比谷パークビルヂング 519 号 (電話 213-0886)
(5186) 本 村 正 巳
5. 補正の対象 明細書の「発明の詳細な説明」の欄
6. 補正の内容

明細書第 6 頁第 3 行「高めている。」の次に改行して次の文を加入します。

「なお、第 1 図に示す実施例では、スライドレールアツバおよびスライドレールロフを直線状のものとして例示したが、これらの部分を、垂直面内で大曲率でカーブする形状に成形してもよい。このようにすると、シートの上下の高さを、前後方向のスライドに伴なつて変えることができる。」

NAME
URAI, MUNEHARU

NAME	COUNTRY
TACHI S CO LTD	N/A

APPL-DATE: June 24, 1985

INT-CL (IPC): B60N001/08, B21D053/88

US-CL-CURRENT: 248/430, 297/341

PURPOSE: To reduce the weight of a seat frame but to enhance the strength thereof to aim at reducing the cost thereof, by integrally incorporating a slide rail upper section and a reclining bracket with each other so that the use of bolts, nuts and rivets for fastening angle sections is eliminated.

CONSTITUTION: A seat frame comprises two half sections 1, 2 corresponding to a conventional slide rail upper section, which are vertically split and integral ly incorporated with angle forming sections 1A, 1B as a reclining bracket in the upper section thereof. A longitudinal adjuster is composed of the slide rail upper section and a slide rail lower section 3, rollers 3 and roller balls 5 as main component parts. Further, there are formed laterally extending bulged sections 1E, 2C, 1G, 2E at several positions in the two half sections, which are rounded and which stores therein the balls 5.

COPYRIGHT: (C) 1986, JPO&Japio